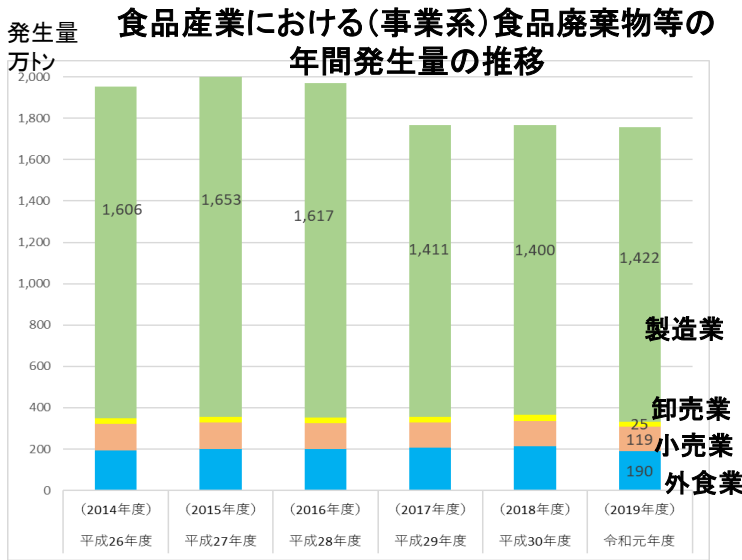


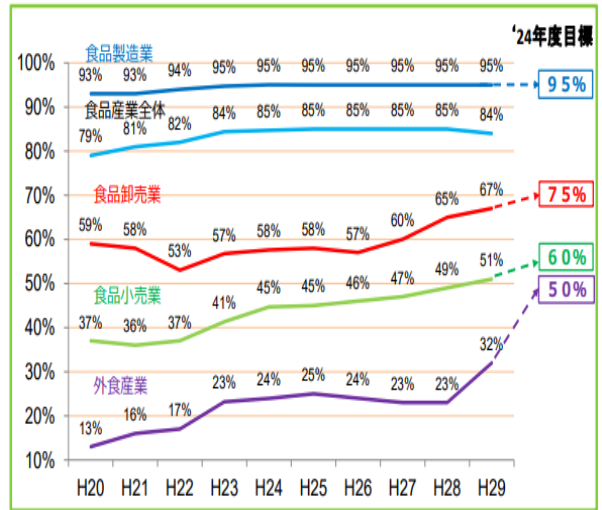
食品リサイクルの状況

(農林水産省ホームページより)

食品製造業の食品廃棄物等の年間発生量は、令和元年度では平成26年度に対し約**11.4%減少**している。また、平成30年度統計調査を元にした平成29年度以降の推計値では**平成30年度は約0.8%減**したものの**令和元年度には1.5%増加**している。一方で食品製造業の食品循環資源の**再生利用等実施率は95%以上**が維持されている。



食品産業における再生利用等実施率の推移



出典:農林水産省HP
(食品廃棄物等の年間発生量及び食品循環資源の再生利用等実施率について)
<https://www.maff.go.jp/j/shokusan/recycle/syokuhin/kouhyou.html>
を元に食品産業センターでグラフを作成

出典:農林水産省HP (食品リサイクルの現状)
https://www.maff.go.jp/j/shokusan/recycle/syoku_loss/attach/pdf/161227_6-6.pdf

○ 令和2年度推計値

※各項目の上段()内の数値は、食品廃棄物等の年間発生量の合計に占める割合である。

区分	食品廃棄物等の年間発生量							発生抑制の実施量	再生利用等実施率	基本方針における目標値
	合計	再生利用の実施量	熱回収の実施量	減量した量	再生利用以外	廃棄物としての処分量	再生利用等実施率			
食品産業計	16,236	11,427	415	1,763	330	2,301	3,083	86	95	
食品製造業	13,389	10,585	412	1,740	309	344	2,373	96	95	
食品卸売業	231	134	3	11	17	67	33	68	75	
食品小売業	1,110	427	0	3	3	676	420	56	60	
外食産業	1,506	282	0	9	2	1,213	257	31	50	

注: 1 令和2年度推計値は、食品リサイクル法第9条第1項に基づく定期報告結果と「食品循環資源の再生利用等実態調査(平成29年度)」(農林水産省)を用いて推計したものである。
2 単位未満を四捨五入したため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。
3 表中に用いた記号は次のとおりである。
「0」: 単位に満たないもの(例: 400 t → 0千 t)

情報など随時ご紹介しています
展示会出展や説明会開催予定も後日掲載します ⇒

<https://kankyo.shokusan.or.jp/food-2/f-1/f-1-5>



一般財団法人 食品産業センター

〒102-0084 東京都千代田区二番町5番地 5
企画・渉外部 03-6261-7458